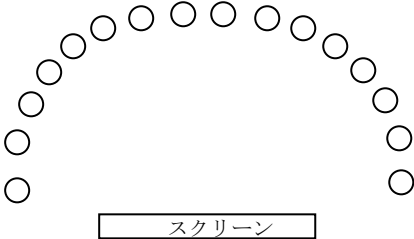


みんなの知恵で芸術作品を！「写真撮影」

指導計画

	内容	留意事項
<p>教室配置</p>		<p>全体説明及び写真の発表時は、左図のように円形に座り、全員がスクリーンと光子の様子を見られるよう調整する。 写真撮影はキャンパス全体で行う。</p>
<p>準備する 教材・設備等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真撮影用デジタルカメラ 4 台</li> <li>・ パソコン・プロジェクター・スクリーン 1 式</li> </ul>	
<p>ルール</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 30 分の制限時間以内に、グループごとに与えられたテーマに沿った写真を撮影する。</li> <li>2. テーマは 5 つあり、撮影スポットも 5 つ定められている。</li> <li>3. テーマと撮影スポットを自由に組合せ、全員で力を合わせて創造性のある写真を撮影する。</li> </ol>	
<p>情報保障</p>	<p>講師が直接手話や文字を用いて情報を伝える。グループ内では、互いのコミュニケーション手段に配慮し、全員が参加できるよう注意するよう伝える。</p>	
<p>進行・展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主旨説明（5 分） 体育館などの広いスペースに集まり、スライド資料を提示しながら、進行について説明する。</li> <li>○ 写真撮影（30 分+移動時間 5 分） テーマを 5 つ、撮影スポットを 5 箇所を提示し、それぞれのスポットで定められたテーマに基づく写真を撮ってくるよう伝える。テーマとスポットの組合せは自由。</li> <li>○ 作品発表（15 分） 再集合し、各グループで撮影した写真をスクリーンに投影しながらそれぞれコンセプトを発表する。</li> </ul>	<p>テーマ例は実施報告を参照のこと</p>

	○ 投票 (5分) テーマごとに順位投票を行う。	
指導教材	スライド資料 撮影スポットとテーマを示した資料	

この資料は、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)  
エンパワメント事業の活動成果です。